

## 受験当日までのスケジュール&ポイント②

### 9. センター試験受験科目の最終確認をする

平成31年度大学入学者選抜のセンター試験の出題教科・科目は5教科30科目（配点：国語200点、地歴公民100 or 200点、数学①②各100点、理科①②100 or 200点、外国語筆記200点、英語リスニング50点）。受験科目は出願校の入試科目の指定条件を満たさなければなりませんから、いくつか指定条件の異なる大学を志望している場合は、受験科目を十分に確認しておく必要があります。入試科目・配点の最終確認は必ず募集要項で行ってください。

### 10. センター試験前日までに試験場を確認する

受験票を見てください。みなさんの受験会場は日本工業大学ですね。試験前日までに実際に足を運び、自分の目で確認するのもよいでしょう（良い気分転換にもなるはずです）。

### 11. センター試験当日の注意事項

試験開始前には、監督者から口頭で注意事項が伝えられます。聞き取れなかった場合は、その場で監督者に聞くこと（隣の人に聞いてはいけません）。試験時間中は監督者の指示に従うこと。

#### ◎試験時間中の所持品の取り扱い

- ① 机の上におけるものは「受験票」「写真票」のほかに、黒鉛筆（H、F、HBに限る 和歌・格言等が印刷されているものは不可）、シャープペンシル（メモ・計算用としてのみ可）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）、時計、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋・箱から中身だけ取り出したもの）、目薬。これ以外の所持品は机の上に置くことはできません。
- ② 定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や、電子辞書、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、ICレコーダー等の電子機器類は使用できません。

#### ◎解答科目・受験番号等のマーク記入

- ① 解答科目がマークされていない場合、または複数の科目にマークされている場合は0点になります。毎回の模試で記入漏れ・間違いをする人が必ず数名います。十分に注意して下さい。
- ② 上で述べた鉛筆以外の使用はできません。シャープペンシルでのマーク記入は厳禁です。鉛筆は芯が折れないようにキャップをして、多めに持参しましょう。もちろん、鉛筆削りは必携です。

（③は次号で…）

## 河合塾センターﾌﾟﾚｽﾄ返却

今年度、学校参加の最後の模試、河合塾全統センタープレテスト（11月25日実施）の結果が、昨日返却されました。結果はどうでしたか？ 中間考査も終わり、あなたたちはセンター試験モードになっていることでしょうか。この一年間に受験した、学校参加のマーク模試だけでも4回。各回の解答・解説書を活用して、しっかりと復習すること。「一度やった問題は、次からは必ずできるようにする」この積み重ねが受験勉強にほかなりません。

表：コース&科目別 平均偏差値・受験者数

	5-7 理系	5-8 文系	英数理	英国社	英語+リス	数学IA	数学II B	国語	物理	化学
130 回生	49.4(105)	52.9(66)	49.8(30)	55.1(111)	54.6(343)	49.9(237)	48.7(212)	53.3(330)	47.1(83)	49.8(119)
131 回生	52.0(96)	54.8(78)	51.2(34)	55.4(112)	54.8(341)	52.7(237)	51.8(220)	53.5(337)	50.4(96)	52.9(105)

	生物	化学基礎	生物基礎	地学基礎	世界史B	日本史B	地理B	現代社会	政治経済	倫理政経
130 回生	52.3(50)	56.8(46)	55.4(74)	53.2(62)	53.6(55)	55.0(122)	47.5(105)	60.2(41)	53.8(36)	51.9(28)
131 回生	57.3(21)	55.7(65)	56.1(71)	55.5(64)	53.5(72)	56.5(116)	50.2(98)	60.8(46)	57.1(13)	52.7(35)

\* 枠内の左の数値が「平均偏差値」、( )内の数値は受験人数。

\* 昨年度の受験者数が5人未満の科目「物理基礎 55.3(3)→51.6(13)」、「倫理 49.4(3)→56.0(13)」

## Never give up until the last minute !

センター試験までの1か月。ここでは、勉強面&生活面での注意点を思いつくままに…

- ✚ 不得意分野を深追いせず、「得意分野」を徹底的に固めて、得点源をキープ。
- ✚ 得意科目だからといって間隔をあげない! この時期には、受験する全科目をバランスよく学習することも重要。
- ✚ センター攻略の三大ツールは「過去問」「模試」「使ってきた教材」。
- ✚ 「過去問」は、時間をはかって取り組むこと。センター試験ではどの科目も時間的にタイト（特に国数英）。制限時間よりも5~10分短い時間で完答するつもりでやるのもよいでしょう（「過去問」はこの時期手を付けてよい「新しい教材」の希少な例です）。国語や英語は、過去問演習を通じて、選択肢の見極め方を身につけましょう。数学では、自分の実力に見合わない問題を「捨てる」判断も大切。
- ✚ 「模試」の復習は、得点力を飛躍的に向上させます。徹底復習により、基礎事項の確認と典型問題の解法をもう一度身体に浸み込ませてください。この一年、自分がミスしてきたポイントと正面から向き合う勇気を！
- ✚ 「使ってきた教材」でインプット作業を仕上げます。「過去問」演習&「模試」復習でのアウトプット作業を通じて、「この教材のこの部分がセンターではこう聞かれるのか」ということを、ひとつひとつ確認してゆくこと。
- ✚ 直前期に得点がアップしやすい科目は、「地歴公民」「理科」という声多し。国数英に比べてスタートが遅い「地歴公民」「理科」は、センター直前まで知識のインプットが必要。センターの問題は意外と手ごわく、複数分野の知識を組み合わせる力が求められる出題も散見される。手薄になりかちな「地歴公民」「理科」の第二解答科目もしっかりとケアすること。
- ✚ 教科科目ごとに、解答順序・時間配分など、各自でルーティンを決めておく。例えば…「国語は、漢文→古文→小説→評論の解答順でやる」、「マークシートは、数学では大問ごとに、地歴公民では1問ごとに塗る」など。これだけでも、本番は落ち着いて解答できます。
- ✚ 生活リズムを崩さぬこと（特に「起床・就寝時間」）。「お正月くらいは…」と気を緩めることなく、体調管理には細心の注意を！